公 共 問 題

(その1)

(解答はすべて解答用紙に記入のこと)

1 次の文章を読んで、下の問いに答えよ。

裁判は、厳正で公正におこなわれなければならない。そのために、①裁判所と裁判官はほかの機関や勢力から独立していなければならない。これを（あ）の独立とよぶ。

憲法は、「何人も、裁判所において裁判を受ける権利を奪われない」とし、裁判を受ける権利を保障している。（い）権によって、すべての裁判所が、立法府や行政府のいきすぎを抑制する。最高裁判所で②違憲判定が確定すれば、その法令はその事件に関して無効とされる。高度に政治的な判断が必要な国家の行為について、裁判所は判断すべきではないという（う）論の考えもあるが、裁判所はこれからも③「憲法の番人」としての役割を果たす必要がある。

問1 （あ）～（う）に入る語句を答えよ。

問2 下線部①に関連して、次の各文の波線部が正しければ○、誤っていれば正しい語句を記入せよ。

- ア. 日本国憲法は、司法裁判所に属さない弾劾裁判所の設置を認めていない。
- イ. 裁判官の職務は、良心と憲法、法律にのみ拘束されると日本国憲法は定めている。
- ウ. 最高裁判所裁判官を罷免するかどうか、国民投票の制度によって決めることができる。

問3 下線部②に関連して、次の(あ)～(え)は違憲判断が出された事例(判例)名である。それぞれに対応する最高裁判所の判断の内容を選び、記号で答えよ。

(あ) 薬事法訴訟 [1975年]	(い) 愛媛玉ぐし料訴訟 [1997年]
(う) 北海道砂川政教分離訴訟 [2010年]	(え) 在外日本人選挙権制限規定 [2005年]

- ア. 神社の敷地としての市有地の無償提供は違憲である。
- イ. 公の機関の宗教的活動や公金支出を禁止した憲法に違反している。
- ウ. 距離制限規定は合理性を欠き違憲である。
- エ. 4.40倍の格差は違憲であるが、すでに実施された選挙は有効である(事情判決)。
- オ. やむをえない場合以外の選挙権の制限は違憲である。

問4 下線部③に関連して、最高裁判所は「憲法の番人」とよばれているが、それはなぜか。30字程度で説明せよ。

(その2)

2 次の文章を読んで、下の問いに答えよ。

日本では、①さまざまな選挙制度を組みあわせて、多様な意見が議会に集まるよう工夫している。

参議院	原則として都道府県ごとを選挙区として、1つの選挙区から（あ）を選ぶ選挙区制（定数148人）と、全国を1つの選挙区とする比例代表制（定数100人）を組みあわせた制度である。② <u>参議院の比例代表制</u> では、政党の得票数に応じて議席が配分され、政党のなかで得票数の多い候補者から当選する（い）を採用している。
衆議院	1つの選挙区から（う）を選ぶ小選挙区制（定数289人）と、政党の得票数に応じて議席が配分される比例代表制（定数176人）を組みあわせた制度である。③ <u>衆議院の比例代表制</u> では、政党はあらかじめ候補者に順位をつけておき、順位の高い順に当選する（え）を採用している。

選挙制度の課題として、一票の格差の問題がある。しかし、人口にあわせて議員の数を変更すると、人口が集中している都市部の議員が増え、地方の問題が置き去りになる可能性も指摘されている。

また、選挙権に関する問題もある。在外日本人の投票権は、（お）選挙に限って認められている。在日外国人の（か）選挙への選挙権について、最高裁判所は、選挙権が認められないのは憲法に違反しないとしたが、立法によって定住外国人に地方参政権を与えることはできると述べた。

問1 （あ）～（か）に入る語句を次から選び、記号で答えよ。

ア. 複数人 イ. 1人 ウ. 国政 エ. 地方 オ. 拘束名簿式 カ. 非拘束名簿式

問2 下線部①に関連して、比例代表制で、政党の投票数を整数で順次割り、商の大きい順に議席を配分する方式を何というか、答えよ。

問3 下線部②、③における投票時の行動として、適当なものをそれぞれ選び、記号で答えよ。

- ア. 有権者は政党名で投票をおこなう。
イ. 有権者は政党名か候補者名で投票をおこなう。

問4 衆議院の選挙制度を何というか。漢字11字で答えよ。

問5 衆議院の選挙制度について、次の各文が正しければ○、誤っていれば×を記入せよ。

- ア. 小選挙区の候補者は、同時に比例代表の名簿登録者になることができ、重複立候補制という。
イ. 小選挙区で落選した場合、落選者の投票数に占める当選者の投票数の割合を惜敗率とよぶ。
ウ. 小選挙区で落選し、比例代表名簿の記載順が同じ場合には惜敗率が低い順に当選する。
エ. 小選挙区で落選した場合、得票数が0でも重複立候補者の復活当選はありえる。

(その3)

3 次の文章を読んで、下の問いに答えよ。

国際社会を安定させる方策として、20世紀初頭までは、(あ)が有力であったが、この方策では第一次世界大戦を未然に防ぐことができなかった。このため、1920年に(い)を基本原理とする①国際連盟が設立されたが、これも第二次世界大戦の勃発を防ぐことができなかった。そこで1945年に国際連盟に代わって、Aが成立し、(う)により6つの主要機関が設置され、多数の委員会・専門機関と連携して活動している。Bは、全加盟国で構成され、討議・(え)をおこなう。一国一票の議決権をもち、表決は(お)でおこなわれる。

Cは、世界の平和と安全の維持について責任をもっている。5か国の常任理事国と、10か国の非常任理事国からなる。手続き事項以外は、常任理事国の賛成が必要であり、②そのうち一国でも反対すれば(Dの行使)、議決は成立しない。全加盟国は、その決定に従う義務を負っており、従わない場合は強制措置がとられる。

問1 文章中の(あ)～(お)に入る語句を次から選び、記号で答えよ。

- ア. 勧告 イ. 勢力均衡 ウ. 国連憲章 エ. 多数決 オ. 集団安全保障
カ. 外交努力 キ. 武力制裁

問2 A～Dに適切な語句を答えよ。

問3 下線部①には、欠陥があったため、十分に機能しなかった。その欠陥を答えよ。

問4 下線部②を何の原則というか。

問5 国連の安全保障機能の一つで、国連が紛争の再発防止や治安の回復・維持のためにおこなう活動を何というか。日本語の名称を答えよ。